



大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

南北自由通路は当面先送り

小林市長が9月定例会で、「大月駅南北自由通路整備」について、次のように述べました。

「今後の税収の落ち込みは予測が難しいところであります。このような財政状況では、本年度から着手予定としていた立地適正化計画に基づく大月駅南北自由通路の事業実施は、現時点では困難であると考え、今一度、実施時期について検討することとしたいと考えております」

「大月駅北側大規模空閑地の有効利用は本市の活性化に必要であるため、進入路である市民会館から駅北側までの市道拡幅事業については、地権者の皆様にご協力いただきながら実施することといたしました」

南北自由通路事業の先送りは当然です。築60年、防災拠点となるべき市役所本庁舎が財政が厳しいために建替えられないのが大月市の財政状況です。南北自由通路設置に協力をいただく地権者JRは、「橋上駅舎とセットでの整備が基本方針」と繰り返し明らかにしています。市役所より駅舎が先などありえません。他方、駅裏通り線の拡幅事業は、何としても進める、これは大賛成です。

大月駅北側開発は 駅裏通り線の拡幅を先行

立地適正化計画では…

①駅裏通り線拡幅（15億円）

②駅前広場（1億円）

③南北自由通路（20～35億円）

3点セットで開発することで、45%の国補助が受けられる有利な事業

↓↓

今後の税収の落ち込みは予測が難しいため、3点セットをやめて

駅裏通り線拡幅（15億円）

を地権者の皆様の協力をいただきながら実施する（2020.9 小林市長）

私は、2019年12月定例会一般質問で「南北自由通路は時期尚早」と財政健全化に反することを指摘し、2020年度予算審査でも反対理由に関連予算の計上をあげました。当面先送りとなり、ホッとしています。

【藤本みのる活動日誌】

9月 7日(月) 一般質問発言通告(質問17日、傍聴自粛要請中)

9月 8日(火) 実りの時間(笑いの家でのお話会)